

集落営農で取り組む新規園芸品目

西部地区では集落営農組織が34組織設立されています。これらの組織では経営の安定化と、作業受委託等により生じた余剰労力を活用するため、高収益が期待される新規園芸品目の導入を検討しています。

伏木地区農地保全組合では、昨年コギクを50a作付けしました。組合で品種を統一し、栽培管理は各個人が責任を持ち、共同出荷を行っています。良好な結果が得られたことから、本年は80aに拡大しています。

伏木以外の組織でも、以下の組織が本格的な生産を前にして新たな園芸品目の導入や試作を行っています。

(日田市)	(玖珠町)
農事組合法人大肥郷ふるさと農業振興会：ニンジン	農事組合法人きりかぶ：白ネギ
伏木地区農地保全組合：サトイモ、黒大豆	長小野マリンズ村推進協議会：コギク、ホオズキ
高瀬東部地区営農組合：ニンニク、枝豆、ナバナ等	(九重町)
尾戸・宮園集落共同営農組織：コギク	農事組合法人書曲営農組合：白ネギ

お知らせ：「大型特殊及びけん引免許取得研修」

農業大学校では、本年も「大型特殊（農耕車限定）」と「けん引」の運転免許取得研修を開催します。

研修に関しては受講申込書のほか、受講推薦書が必要になりますので、各市町農政担当課又は西部振興局・生産流通部・担当の河野（電話0973-23-2217）へ、研修の3週間前までにお知らせください。研修の計画は下記のとおりです。

平成19年度 農業大学校開催の機械運転免許取得（農耕車限定）一般研修計画

区分	回	研修開始日	研修日数	試験日		募集人数	時間編成	
				前半：9:00～12:00	後半：13:00～16:00		午前班 8:30～12:30	午後班 13:00～17:00
大型特殊	3	9月4日(火)	6日間	9月12日(水)		25	15	10
	4	12月11日(火)	6日間	12月19日(水)		35	15	20
区分	回	研修開始日	研修日数	試験日		募集人数	時間編成	
けん引	2	7月17日(火)	6日間	午前9:00～12:00			10	午前
	4	1月24日(木)	4日間	7月25日(水)		15	終日	(9:00～16:00)
	5	2月14日(木)	4日間	1月30日(水)		20	終日	(9:00～16:00)

作成・発行 大分県集落営農推進西部支部
大分県西部振興局農山村振興部
TEL：0973-22-2585 FAX：0973-23-2219

集落営農かわら版

平成19年6月15日 VOL. 4
大分県集落営農推進西部支部
大分県西部振興局農山村振興部

新たに集落営農組織2法人が設立されました

(農)実業営農組合

平成19年3月30日、玖珠町の戸畑地区（田の平・米山・天道集落）において農事組合法人 実業営農組合（54戸）の設立総会が開催されました。中山間地域における集落営農法人の設立は西部振興局管内では初めての取り組みとなりました。中山間地域等直接支払制度の協定集落（3集落）が中心となり、営農部分を法人化しており、管内における中山間地のモデルケースとして期待されます。



(農)書曲営農組合

平成19年4月22日、九重町の書曲地区において農事組合法人 書曲営農組合（17戸）の設立総会が開催されました。九重町で最初の集落営農法人の設立となりました。



当面は、水稻の受委託作業を中心に活動していきますが、法人の経営安定を図るため、転作田を活用して新規に園芸品目（白ねぎ）の栽培にも取り組んでいます。



日田市小野地区で集落営農組織を設立

平成19年5月9日(水)、小野振興センターで「小野地区集落営農組合」の設立総会が行われました。小野地区では、ほ場整備組合や中山間地域等直接支払い協定集落の役員さんを中心とした準備会で、集落単位の組織がよいか、小野地区全体での組織設立がよいか、というところから検討を始め、準備委員による本音の議論を何度も重ねた結果、構成戸数164戸という複数集落を受益エリアとする農作業受委託型の任意組織が設立されました。



組合長に就任した美野英俊さんは次のように語っています。

「小野地区集落営農組合設立にあたって」 組合長 美野英俊

当小野地区は日田市北西部に位置し、自然豊かな景観が多く、中山間特有の石垣積みの棚田が多く見受けられます。この棚田を先人の方々が昔から守ってきましたが、生活環境の変化、高齢化社会、後継者不足の到来のため、平成15年度から基盤整備事業に着工しました。私自身も以前は小作も含めて42aを耕作し、しかも4カ所に分かれていたため、石垣積みの棚田24枚の草取り、畔打ち、耕耘機での作業と、今思うと苦勞の連続でした。旅行に出かけた時に車窓から眺める大区画の水田に憧れ、なんで桁外れに小さい水田を耕作しなくてはならないのか！と思っていた時期もありましたが、当小野地区も小規模ではありますが基盤整備が実現し、残り1集落の工事を残すのみとなりました。



それに伴い、小野地区としての農地の保全と効率的な農業生産を図るため、集落営農組織に関する勉強会を重ねて、平成19年2月に集落営農組織設立準備会を発足、その後準備会の中で何度も検討し、5月9日に設立総会を行い、集落営農組織の設立が実現しました。この間、農協、市、県の方々の絶大な支援と準備役員のご協力に感謝申し上げます。

今年度はまだ現状維持(下小竹工区では機械利用組合による共同育苗、田植、刈り取りが、林工区、源栄町工区では共同防除が以前から行われています)ですが、来年度からは6工区(三河、下小竹、柳野、林、殿町、源栄町)での作業受託を実施したいと思っています。そのため、まずは先進地視察や役員研修を行い、今後尚一層の意識統一を図っていきたくと思っています。また鹿、イノシシの被害対策や、コンバイン等の機械購入についても早急に検討したいと思っています。

集落営農推進研修会を開催

関係機関が一体となって集落営農の推進に取り組むため、関係機関担当者を対象として、日田市の県総合庁舎において、5月28日(月)に「西部地区集落営農推進研修会」を開催しました。

今年度新たに集落営農の担当になった職員もいることから、研修会の冒頭、昨年度の推進状況について報告を行いました。

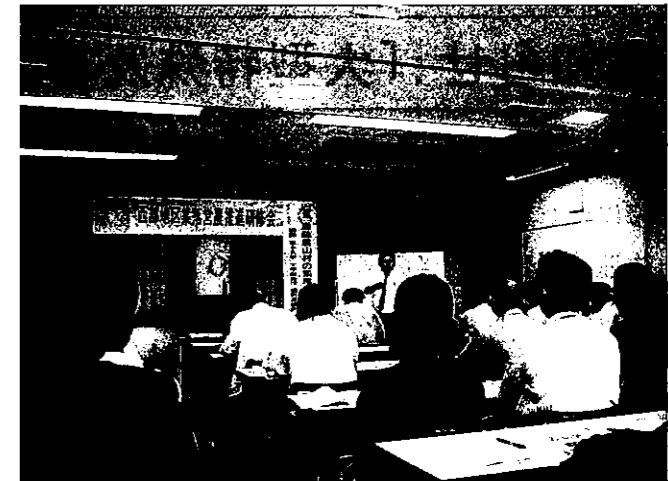
続いて熊本大学の徳野貞雄教授が「過疎農山村の集落と農業」と題して講演を行いました。徳野先生からは、『人の問題に取り組まないと、集落の問題は解決しない』と、政策でも、事業でも、活動でも、“人”を中心にすることについて迫力ある話がありました。

このように、関係機関では研修を重ねながら、地域の方々の支援を行うための資質向上を図っています。「集落営農」に関して聞いてみたいことがあれば、気軽に下記の関係機関にご相談下さい。

集落営農推進状況の報告



徳野先生の講演



日田市 農政推進課 農産振興係	(Tel: 0973-22-8211 担当: 後藤)
前津江振興局 産業課(53-2111 江田)	中津江振興局 産業課(54-3111 赤星)
上津江振興局 産業課(55-2011 古田)	大山振興局 産業課(52-3101 新田)
天瀬振興局 産業観光課(57-8209 穴井)	
九重町 農林課 農委・担い手育成G	(Tel: 0973-76-3804 担当: 梅木)
玖珠町 農林課 農政係	(Tel: 0973-72-7164 担当: 安達)
J A大分ひた 営農振興課	(Tel: 0973-23-2220 担当: 佐谷野)
J A大分大山町 指導課	(Tel: 0973-52-3151 担当: 高瀬)
J A玖珠九重 指導販売課	(Tel: 0973-72-1135 担当: 日野)
J A九重町飯田 生産購買課	(Tel: 0973-79-2011 担当: 時松)
大分県西部振興局	(Tel: 0973-22-2585 農山村振興部 集落・水田班)